

2006 JSDE /hk

発行 社団法人日本設計工学会北海道支部

監修 竹内 茂（支部長）、菅原幸夫（幹事・HP 委員）

平成18年度 支部第1回事業 見学会

平成18年9月4日（月）に行われました表記事業に就き、順にご報告申し上げます。尚、今回も会社・施設紹介や見学中の説明は詳細に亙り、企業・施設そのものはもとより、関連も含めた業界等をかなり身近に感ずることが出来ました。これら数々の貴重な機会を設けてくださった企業・施設の方々には、この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

第1見学場所：株式会社 池田歯車製作所（札幌市西区発寒13条12丁目4-45）

当日は午後1時に11名が参集し、最初に専務取締役 池田宗司様からご挨拶をいただき、早速工場内をご案内していただきました。当社は昭和13年に設立された道内初の歯車工場で、現在は有数の歯車設計製作会社として、取引先も道内のみならず、全国主要製造業へと広がっております。



会社前のショウウィンドウ



製作中の歯車 →

歯車は機械要素として最も精密で重要かつ用途が広い物の筆頭といっても過言ではなく、その製造過程はとびきりの精度が要求されます。当工場はこれら欠かすことの出来

ない要求に応えるべく、数々の製作機械や測定機器を装備し、優秀な歯車を出荷している様が見られました。

また、いわゆる機械の専門課程での授業である、機構学や設計学においては欠かせない項目としての歯車でもあります。学修する人たちにも是非見ていただきたい気持ちになりました。

第2 見学場所 : 札幌市環境事業部施設管理課発寒清掃工場

(札幌市西区発寒15 条14 丁目1-1)

次に訪れたのは、NEDOの組織下であり、処理施設としては道内随一の当工場であります。最初に山口係長のご挨拶をいただきました後、施設の紹介をしていただき、ビデオを拝見し、場内へと向かいました。

ここでは年間20万トンを超える量を処理しており、クレーン一つを見てもかなり大きな物です。今時の施設らしく、燃焼エネルギー回収のため、同時に温水・蒸気供給、発電も行っております。我々の生活を維持する大切な施設として、改めて認識すると同時に、環境に優しい暮らしが必要と感じる見学会でした。



施設全景 (模型)



集中制御室